

平成16年 新年所感

~blog, Bフレッツ, IP電話~

申年をむかえて

新年あけましておめでとうございます。早いもので、このコラムも16回目、2度目のお正月を迎えました。

新年にあたり、私の考えていること、感じていることを申し述べさせていただきます。

今年、流行りそうなものは？

今年、流行りそうなものを3つあげてみます。

1. blog
 2. Bフレッツ（光接続）
 3. IP電話
- と予想します。

IP電話の勝者は？

IP電話は数社での戦いになっており、当社もどこかの傘下に入ることとなります。

有名どころとしては、NTTコミュニケーションズ、Fusion、KDDIなどです。

どこの傘下に入るかは大問題です。

と言いますのも、同一IP電話会社内なら通話無料、という所が多いからです。

最終的に勝ち残るのは1社か2社でしょう。

当社としても間違った選択をしてはいけませんので、どうしても慎重になります。

そのような理由で、まだ、皆様にサービスインをご案内できておりませんが、今しばらくお待ちください。

遅くとも10年以内に、電話番号と言えば、090,080,070と050で始まるのが当たり前になり、03や04で始まる電話はなくなっているでしょう。

Bフレッツは、ADSLを駆逐するか？

NTTは、Yahoo!BBとのADSLのシェア争いから、Bフレッツへ、重点政策を移行したかに見えます。

ユーザーがADSLを選択する理由は2つあると考えます。

1つは価格。特に工事費用の高さがBフレッツはネックです。

もう1つは、電話です。一般電話を利用したい方にとっては、この点も非常に重要です。ADSLなら電話を使いながらネットもできます。

しかし、先ほど述べたIP電話が普及すると、どうなるかと言いますと、上記2点の優位性がまったくなくなります。

BフレッツでIP電話が当たり前になったとしますと、2番目の理由はなくなります。そして、価格面では、Bフレッツで電話の基本料が不要になりますから、ADSLと電話の基本料を合計した額と、Bフレッツの基本料金はほぼ同じであり差はなくなります。

[総務省の発表](#)では、まだまだ光（Bフレッツ）はADSLの10分の1の加入者数しかありません。

当社を見ますと、当社の会員は時代を先取りする、ハイレベルな方が多いのですが、当社ですですに単月の入会数はBフレッツがADSLを上回っています。早ければ今年3月末にも総会員数ベースでBフレッツが上回るかもしれないという所まで来ています。

平成16年末には、単月加入者で光がADSLに追いつくのではないかと思います。

速度を売り物に登場したADSLですが、さらなる速度の光（Bフレッツ）に市場からの退場を迫られる日は近いでしょう。

IP電話の勝者は？

当社においても注目していたblogが昨年11月頃より登場し、にぎわっています。（ただし、2004年1月13日現在、当社においてはサービス開始の予定はありません）

社長blog([Nifty社長](#), [Livedoor社長](#)など)が流行っており、わが社の社員からも、社長メッセージをblogでやったらどうですか？という声も出てきています。

この社長メッセージは、私が1ヶ月の間に考えたことをまとめており、数学的な表現をすれば積分です。

blogはその日その日の感じたことや、考えの方向、興味の方向を示すもので、こちらは数学的な表現をすれば微分です。

社員から見れば、社長がモノを書いている、という意味で、このコラムも、blogも同じなのですが、実は大きな質的な差があります。

そして重要なことは、初期値が与えられると微分方程式は解ける、ということです。

まさに、野口悠紀雄先生の超整理法にある、[「フローとしての情報」](#)がblogなのです。

blog自体の市場は、100万人としても1ヶ月無料~200円程度ですので、10億円程度の小さなものです。

ただ、その与えるインパクトは大きいものがあるかもしれない、ということで2004年流行りそうなものランキングの1位とさせていただきます。

私がまだblogにしないのは、賢明な読者に、私の思考の運動方程式を解かれるのが怖いのです。